

あなたのメインバンク



明治10年の創業以来、当行では
 地域社会と産業界への貢献と信頼づくりを不変の指針とし、
 またその一方で、時代とともに柔軟に変化することにも意欲的に挑戦してきました。
 これからも、「メインバンクは十六銀行」と言っていただけるように、
 いつもお客さま一人一人の身近な存在であり、一生を通じて夢の実現を
 お手伝いしていくパートナーとして、良質な金融サービスを提供してまいります。



取締役頭取

堀江 博海

じゅうろくのあゆみ

明治10年(1877年)10月、第十六国立銀行として創業して以来、
 地域社会や産業界から厚い信頼をいただき歩み続けてきました。

明治				昭和																										
10年	29年	9年	26年	28年	31年	35年	44年	46年	47年	48年	50年	52年	53年	54年	56年	57年	58年	60年	61年	62年										
10月	12月	11月	12月	4月	7月	4月	3月	4月	4月	10月	6月	6月	9月	4月	7月	9月	4月	10月	4月	12月	10月	7月	8月	4月	6月	12月	1月	9月	10月	
● 第十六国立銀行創業	● 株式会社十六銀行と改称	● 外国為替業務を開始	● 名古屋支店を開設	● 資本金を4億円に増資	● 東京事務所を設置	● 東京支店を開設	● 資本金を8億円に増資	● 大阪支店を開設	● 資本金を24億円に増資	● 名古屋証券取引所第二部上場	● 資本金を40億円に増資	● 事務センター竣工	● 東京証券取引所第一部上場	● 資本金を57億7千万円に増資	● 全店総合オンライン完成	● 資本金を75億1百万円に増資	● 海外コルレス業務を開始	● 新本店竣工	● 創立100周年	● 資本金を78億7千6百5万円に増資	● 総預金1兆円達成	● 資本金を100億円に増資	● 第2次オンラインシステム完成	● コルレス包括承認銀行に昇格	● 公共債の窓口販売開始	● 債券ディーリング業務を開始	● 資本金を132億円に増資	● 香港駐在員事務所を設置	● 総預金2兆円達成	● 創立110周年

● 第一回無担保転換社債の発行

旧本店(岐阜市)



本店(岐阜市)



十六銀行名古屋ビル(名古屋市)



平成																															
元年	2年	3年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	16年	17年	19年	21年	22年	23年														
6月	10月	3月	3月	3月	5月	7月	11月	3月	10月	12月	10月	8月	9年	10月	4月	12月	1月	11月	3月	7月	4月	5月	11月	4月	3月	7月	10月	1月	12月	4月	
● 香港支店を開設	● 中間発行増資総額120億円	● 総預金3兆円達成	● 中間発行増資総額83億円	● 上海駐在員事務所を設置	● 第3次オンラインシステム完成	● 十六ビル竣工	● 代理店方式による信託業務参入	● 名古屋ビル竣工	● 中間発行増資総額151億円	● 東京三壽証券と社債関連業務に関する包括提携	● 「じゅうろくローンサービスセンター」を開設	● 十八地域振興財団設立	● 創立120周年	● 全支店で外貨両替業務を開始	● 証券投資信託の窓口販売開始	● テレホンバンキング業務を開始	● 電算センター竣工	● 十六フロンティア投資事業有限責任組合設立	● 名古屋銀行と業務提携検討開始	● 保険商品の窓口販売開始	● ISO14001認証取得	● 中部金融M&Aネットワーク発足	● ブロック制スタート	● 証券仲介業務を開始	● 地銀共同化システム稼働	● 創立130周年	● 岐阜銀行と業務資本提携契約締結	● 岐阜銀行を株式交換により子会社化	● 総預金4兆円達成	● 第12次中期経営計画スタート	● 守山支店オープン

* 当行の基本理念

基本方針

十六銀行は
金融機関としての公共的
使命を遂行することによって
地域社会に奉仕する。

十六銀行は
広い視野に立ち、
つねに合理性を貫き堅実な
経営により発展をはかる。

十六銀行は
すべての職員が安定した
生活ができるよう
努力する。

経営方針

頼りにして
いただける
銀行

当行が歩む道—それは地域社会を離れてはありえません。地域社会との緊密化を深め、豊かで住みよい地域社会を築くことが、当行に課せられた使命です。お客さまの立場に立って行動し、総合金融サービスの拡充に努めるとともに、地元企業の育成、地域開発への参画等、地域中枢金融機関として、皆さまから一層頼りにしていただける銀行になるよう努力しています。

充実した
銀行

お客さまのニーズに即応し、質の高いサービスを提供していくには、経営体質が強固でなければなりません。このため、収益力の強化、資産の健全性の維持・向上に努め、リスク管理を徹底するとともに、経営全般にわたる合理化・効率化を推進しています。

行動する
銀行

激変する環境にあっても、金融機関としての機能を最大限に発揮する原動力は、高いモラルをもった活力ある人材であり、強靱な組織力です。誠意を尽くし高度な知識をもって、皆さまのお役に立つことができる人材育成に取り組みるとともに、変化に柔軟かつ的確に対応できる組織づくりに努めています。

行動指針

職場と人生

われわれは仕事を通じて社会に奉仕する。職場は自己を成長させ、幸福をもたらす場であるとの自覚に立ち、つねに最善をつくそう。

和の精神

信頼と協力は
明るい職場をつくる。
相たずさえて
心からの和を誓おう。

後継者の育成

後継者の育成はわれわれの責任であり誇りである。明日の経営に自己を活かすことを考え、より良い後継者を育てよう。

信用の向上

銀行の生命は信用である。誠意をもって人に接し、熱意をもって仕事に当り、信用の向上に努めよう。

たくましい実行力

実行は明日を創造する。信念と勇気をもって仕事をすすめよう。

イントロダクション

当行の基本理念	2
目次	3
ごあいさつ	4

平成23年度業績ハイライト

事業の概況	6
-------	---

経営マネジメント

コーポレート・ガバナンス	12
内部統制システム構築に関する基本方針	13
コンプライアンス態勢	14
顧客保護等管理態勢	15
リスク管理態勢	15

十六銀行のCSR

地域の皆さまとじゅうろく	18
--------------	----

〔法人の皆さまへ〕

地域経済活性化への取組み	22
--------------	----

〔個人の皆さまへ〕

地域経済活性化への取組み	26
--------------	----

ATMネットワーク	28
-----------	----

ローンサービスセンター	30
-------------	----

トピックス	31
-------	----

環境保全活動	32
--------	----

社会貢献活動	34
--------	----



行章



「十」が6個で「十六」銀行を意味するとともに、「十」の字を人間模様と考え、全職員が手をつなぎ、和(輪)を誓い心をつ一つにして前進することを示しています。

当行の概要

創業	明治10年10月	資本金	368億円
本店所在地	岐阜市	従業員数	2,971名
営業拠点数		預金等残高	4兆2,945億円
本店	135か所	※譲渡性預金含む	
出張所	12か所	貸出金残高	3兆3,040億円
ローンサービスセンター	19か所		
海外駐在員事務所	2か所(香港・上海)		
店舗外ATM	232か所		

(平成24年3月31日現在)

十六銀行の概要

役員	38
----	----

組織	39
----	----

店舗ネットワーク	40
----------	----

店舗外キャッシュコーナー一覧	44
----------------	----

銀行代理業者に関する事項	45
--------------	----

各種お問い合わせ先/手数料	46
---------------	----

主要な業務	48
-------	----

岐阜銀行との統合効果の早期発現・最大化をはかりつつ、成長戦略を加速し、

「新・十六銀行」としての 企業価値を高めていきます

平素より十六銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

ここに、当行の営業の概況や平成24年3月期決算の状況を皆さまにご理解いただくため、ディスクロージャー誌を発刊いたしました。

金融機関を取り巻く環境をみますと、東日本大震災の復興需要や歴史的な円高の修正、海外経済の持ち直しなどにより、景気は回復基調にあるものの、先行きの不透明感から資金需要は依然として弱く、厳しい競争が続くなかで収益の低下を余儀なくされています。

このような状況下、当行は、地域金融機関として、地域のお客さまからのさまざまなニーズにお応えしていくなかで、持続的な成長を目指し、収益力の強化および健全性の向上に努めていかなければなりません。

かかる課題に対し、当行は、「第12次中期経営計画～輝かしい明日へのテイクオフ～」に基づき、「東海地

区においてNo.1の銀行」「岐阜県と愛知県をつなぐ銀行」「地域経済、地域社会に貢献する銀行」を目指し、平成24年9月18日に予定している岐阜銀行との円滑な合併に向けての取組みを着実に進めるとともに、収益性・健全性の向上、コンプライアンスの徹底により一層努めてまいります。

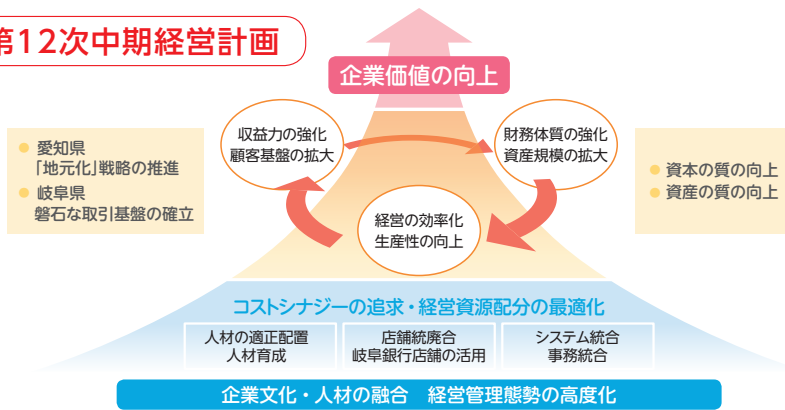
また、こうした取組みを通じて、統合効果の早期発現・最大化をはかりつつ、成長戦略を加速し、「新・十六銀行」としての企業価値の向上に邁進してまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

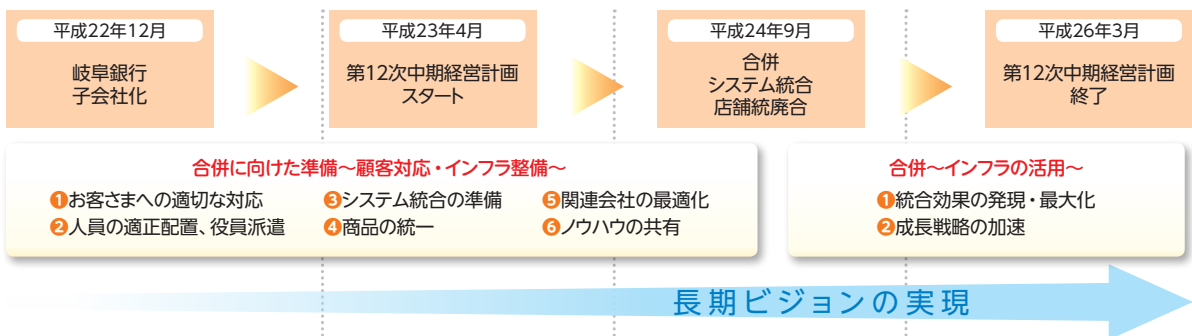
平成24年7月

取締役頭取 **堀江博海**

第12次中期経営計画



預金残高	(最終年度末) 5兆円
コア業務純益	(最終年度末) 250億円
OHR	(最終年度) 67%未満
Tier1比率	(最終年度末) 7.5%以上
与信費用率	(最終年度) 0.25%未満



基本戦略

本経営計画における次の基本戦略を断行し、当行グループを取り巻く課題に適切に対処してまいります。

経営基盤の強化

岐阜銀行との合併後の成長戦略を見据え、収益力の強化に基づく中核的自己資本の充実とリスクに見合った十分な保全・引当の確保に努めることで、資本の内容の充実と資産の健全性の向上をはかってまいります。

合併後を見据えた愛知県・岐阜県戦略の推進

マーケットに応じたチャネルの展開、お客さまのニーズに則した商品・サービスの拡充等により、お客さまとのリレーションシップをさらに深化させ、メインバンクとしての地位確立に取り組んでまいります。

愛知県におきましては、「地元化」に向けて、新たなお客さまとの取引拡大をはかってまいりますとともに、リテールへの取組み強化や新たなチャネルの設置など積極的な営業活動を展開してまいります。

岐阜県におきましては、磐石な取引基盤の確立に向けて、既存のお客さまとの取引深耕をはかってまいりますとともに、より利用しやすいチャネルを整備してまいります。

コストシナジーの早期発現・最大化

岐阜銀行との合併時にあたりましては、お客さまへの影響の極小化に努め、システムおよび事務の統合を行うと同時に、お客さまの利便性に最大限配慮しつつ、店舗統廃合を行うことで、コストシナジーの早期発現・最大化をはかってまいります。

経営管理態勢の高度化

金融環境の変化に柔軟に対応できるよう各種リスク管理態勢を強化するとともに、お客さまからの信頼の基礎となる法令遵守・顧客保護等管理態勢の一層の充実をはかるなど、経営管理態勢の高度化に努めてまいります。

企業文化・人材の融合

当行および岐阜銀行の文化・風土の融合に努め、両行行員が互いに切磋琢磨し、お客さまのニーズに応えることができる高い専門性をもった人材の育成に注力してまいります。

地域密着型金融の推進、金融の円滑化

地域金融機関としての責務を果たすべく、地域密着型金融の取組みを経営の柱として位置づけ、地域に根ざした経営を実践すると同時に、中小企業金融円滑化法の趣旨を踏まえ適切かつ積極的に金融仲介機能を発揮することに取り組んでまいります。

